

経営比較分析表（令和3年度決算）

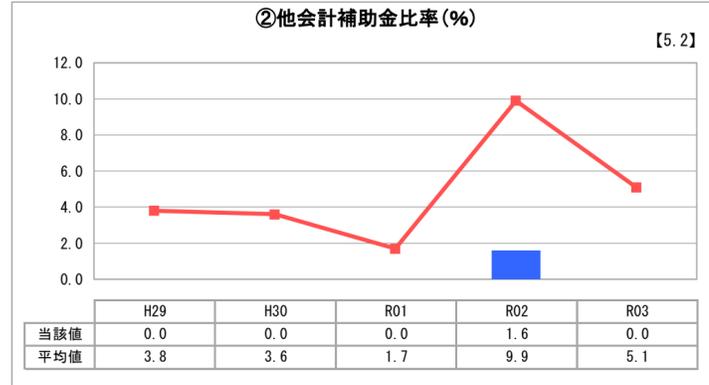
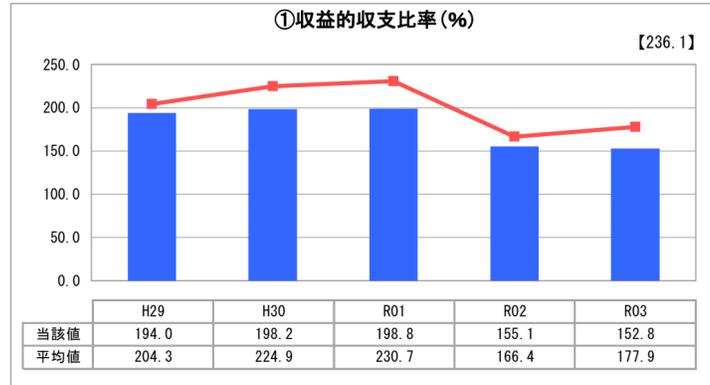
長崎県諫早市 諫早市高城駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	立体式	25	

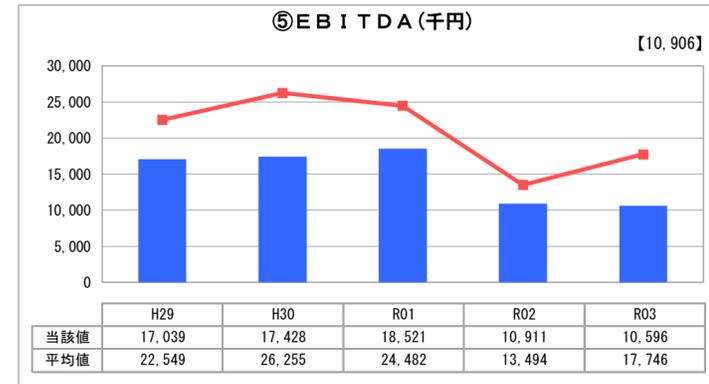
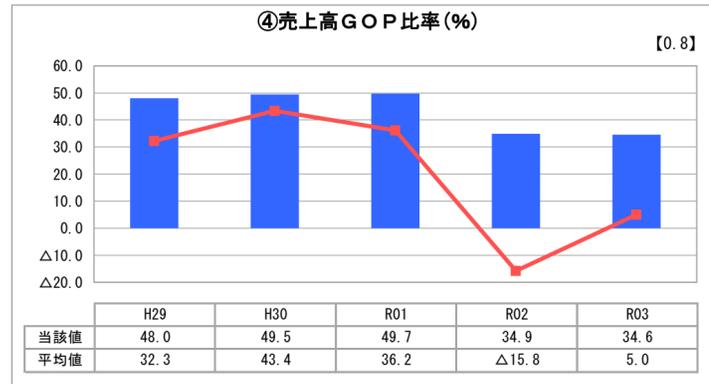
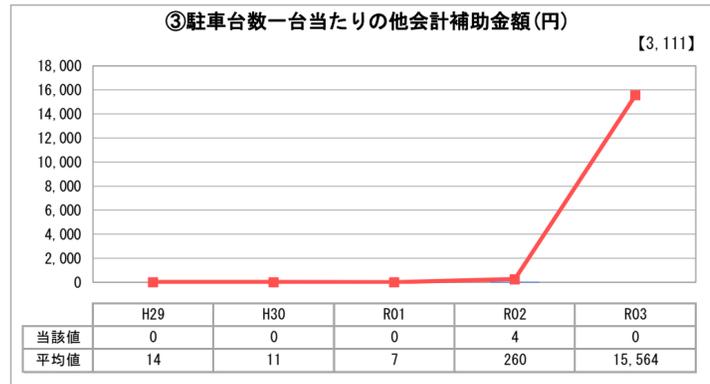
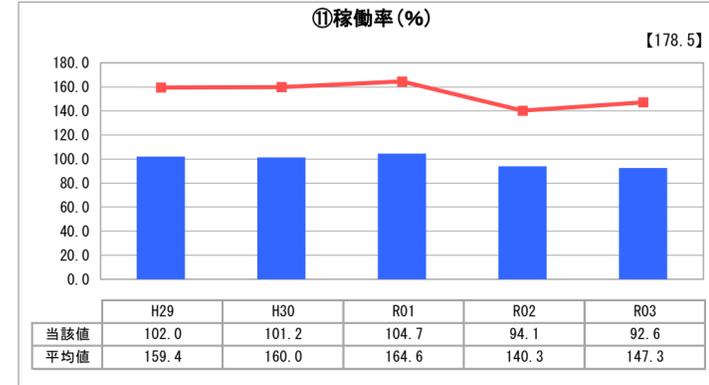
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	6,731
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
256	220	無

■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

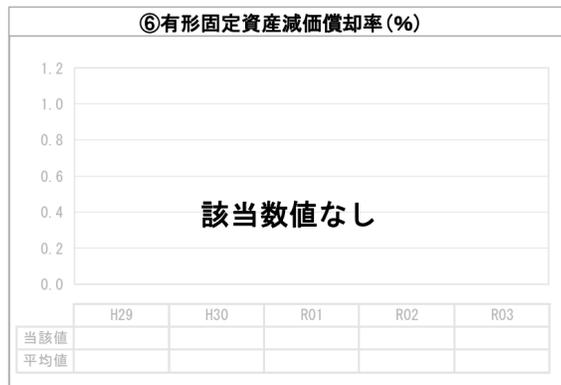
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

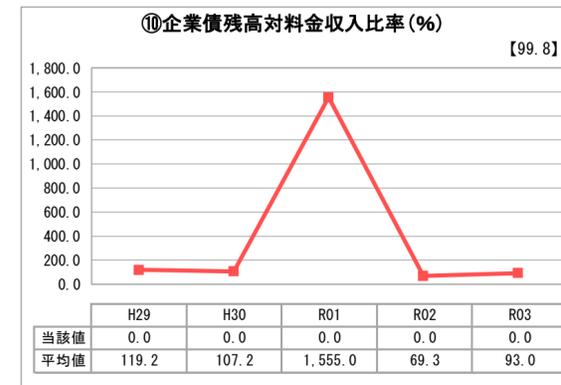


⑦敷地の地価(千円)

41,801

⑧設備投資見込額(千円)

161,202



分析欄

1. 収益等の状況について
 令和2年度に引き続き、全ての指標において新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。このため、収益の見込みを例年に比べ引き下げており、その見込みに合わせた事業計画となっているため、①収益的収支比率、④売上高GOP比率、⑤EBITDAについては、前年度と同程度の数値となっている。
 ②他会計補助金比率、③駐車台数一台当たりの他会計補助金額については、一般会計からの繰り入れを行わなかったため、0となっている。
 今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら収支のバランスを図っていく。

2. 資産等の状況について
 当駐車場が供用を開始して25年が経過し、経年劣化に伴う費用が高む改修箇所が多くみられる。現在は、余剰金の範囲内で行うことのできる改修工事のみを行っているが、関係団体及び建物の管理者との連携を密にしながら、必要に応じて一般会計からの借入れを行い、費用が高むような改修工事を計画する。
 また、駐車場管制設備機器についても、より効率化できるよう研究するとともに、資産の有効活用に努める。

3. 利用の状況について
 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、市役所前広場を利用したイベントの中止や駐車場近隣施設の利用者が減少し、稼働率が100%を切っている。
 ただし、稼働率は前年度とほぼ変わっておらず、コロナ禍が治まるまでは同水準で推移することが予想される。

全体総括
 本施設は、平成9年2月の供用開始から25年が経過しており、経年劣化による費用が高む改修箇所が見られる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少している。
 今後も市街地を訪れる市民のための駐車場として利用していただくために、収入に応じ、必要な設備改修を計画的に行いながら健全経営を図っていく。
 また、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、施設の状況に応じて、一般会計からの繰り入れを伴う大規模改修を計画する。